

# 児童福祉施設に勤務する保育者の精神的健康について

## (1) 基本属性の分析

金城 悟・小野澤 昇・柿澤 敏文

### I はじめに

平成18年度東京成徳短期大学特別研究費及び私立大学教育研究高度化推進特別補助の支援を受け、児童福祉施設に勤務する保育者の健康に関する一連の調査を実施した。本研究では、調査内容のうち、フェースシートに記載された基本属性について分析する。

### II 方法

#### (1) 調査対象者及び調査方法

調査対象者は関東地区の児童福祉施設に勤務する保育者である。調査は2006年1月～3月にかけて実施した。封筒に入れた調査票を一括して施設へ送付し、施設長が所属する施設の保育者へ調査票の入った封筒を手渡し、無記名で回答するという形式をとった。被調査者は返信用の専用封筒に調査票を入れ、調査担当者へ返送することとし、調査票の内容や調査票を返送した者が施設長等の管理者や他の職員に知られることのないように配慮した。

#### (2) 調査票の構成

調査票は下記の7種類の調査で構成されている。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 調査1：回答者の基本的な勤務環境を把握する（フェースシート）      |
| 調査2：ストレスの原因を把握する（ストレッサー調査票）         |
| 調査3：ストレスの構造を把握する（職業性ストレス簡易調査票）      |
| 調査4：ストレスによる健康障害を把握する（GHQ28）         |
| 調査5：ストレス解消の方法を把握する（ストレスコーピング調査票）    |
| 調査6：燃え尽き症候群の状況を把握する（バーンアウト尺度：MBI尺度） |
| 調査7：自由記述                            |

#### (3) フェースシートの構成

フェースシートは勤務する施設に関する設問6（表1）、被調査者自身に対する設問17（表2）の計23の設問で構成されている。

表1 フェースシート：勤務施設に関する設問

	質問	回答項目
A1	施設の種類の	1. 助産施設 2. 乳児院 3. 母子生活支援施設 4. 児童養護施設 5. 知的障害児施設 6. 知的障害児通園施設 7. 自閉症児施設 8. 盲児施設 9. ろうあ児施設 10. 難聴幼児通園施設 11. 肢体不自由児施設 12. 肢体不自由児通園施設 13. 肢体不自由児療護施設 14. 重症心身障害児施設 15. 情緒障害児短期治療施設 16. 児童自立支援施設 17. 児童館 18. 児童遊園 19. 児童センター 20. 児童家庭支援センター
A2	経営主体	1. 公立 2. 私立
A3	施設内の保育士の数	1. 常勤 ( ) 名 2. 非常勤 ( ) 名
A4	施設の入所定員と2月1日現在の入所児童数は何人ですか	1. 定員 ( ) 名 2. 入所児童数 ( ) 名
A5	施設の所定労働時間は何時間ですか？	1. 週40時間未満 2. 週40～45時間未満 3. 週45～50時間未満 4. 週50時間以上 5. 決まっていない
A6	長期休暇（1週間以上）が取れるような体制になっていますか	1. はい 2. いいえ

表2 フェースシート：被調査者自身に対する設問

	質問	回答項目
B1	性別	①男性 ②女性
B2	年齢	満( )歳
B3	婚姻状況	①未婚 ②既婚
B4	最終学歴	①高校 ②各種専門学校 ③短期大学 ④大学 ⑤大学院 ⑥その他( )
B5	現在の職場での勤続年数	現在の職場に就職してから( )年
B6	保育士以外の資格をお持ちですか？	①ない(保育士の資格のみ) ②ある ※ある方はどのような資格をお持ちですか？ a 社会福祉士 b 介護福祉士 c 幼稚園教諭免許 d 社会福祉主事任用資格 e その他( )
B7	現在の雇用形態	①常勤職員 ②非常勤職員(週4日以上勤務) ③非常勤職員(週4日以下勤務) ④パート職員 ⑤ボランティア ⑥その他( )
B8	現在の職位	①課長職以上の管理職 ②主任保育士等の中間管理職 ③一般職
B9	あなたの勤務形態はどれですか	①日勤 ②二交替勤務制 ③三交替勤務制 ④断続勤務 ⑤フレックス ⑥その他( )
B10	一日あたりの平均的な実労働時間は何時間ですか	①8時間以内 ②8時間以上(約 時間)
B11	あなたの通勤形態はどれですか	①施設に住込み ②施設敷地内の寮から通勤 ③施設敷地外の寮から通勤 ④自宅から通勤 ⑤その他( )
B12	あなたの宿直・夜勤は月何回ありますか	宿直：①ある(月 回) ②ない 夜勤：①ある(月 回) ②ない
B13	あなたご自身の担当児童数を教えてください	①( )人担当 ②担当制はとっていない ③その他( )
B14	現在の施設に勤務する以前に、他の機関での勤務経験がありますか	①保育所・幼稚園での勤務経験あり ②他の福祉施設での勤務経験あり (施設の種類の ) ③一般企業での勤務経験あり ④勤務経験なし
B15	現在の施設に勤務するようになったきっかけはどのようなことですか	①関心があり、就職したいと考えていた職種 ②やりがいのある仕事と思ったから ③知人からの紹介 ④資格を生かした仕事に就きたかった ⑤特に理由はない ⑥その他( )
B16	現在の仕事全般を通じて見た場合、あなたは満足していますか	①満足している ②どちらかといえば満足している ③何ともいえない ④不満な点が多い ⑤不満であるが、今の職場で頑張っていこうと思っている ⑥不満であり、転職を考えている ⑦その他( )
B17	あなたは現在の給与額に満足していますか	①たいへん満足している ②満足している ③不満である ④たいへん不満である

### Ⅲ 結果と考察

フェースシートによって明らかになった被調査者の基本属性の結果を下記にまとめる。

#### 1) 所属施設

被調査者の所属施設を表1に示す。最も多い施設が知的障害児施設で、つぎに児童養護施設、複合施設（知的障害児通園施設+肢体不自由児通園施設）であった。

表3 施設の種類と件数

所属施設	N
乳児院	13
母子生活支援施設	2
児童養護施設	40
知的障害児施設	42
知的障害児施設通園施設	22
複合施設（知的障害児通園施設+ 肢体不自由児通園施設）	27
複合施設（その他）	4

#### 2) 経営主体

被調査者の所属施設は、公立が97人、私立が51人、未記入が2人であった。

#### 3) 保育者の数

非調査者が所属する施設の保育者数調べた結果、常勤保育者数が平均16.15人（sd=9.7）、範囲1人～46人、非常勤保育者数が平均6.3人（sd=5.94）、範囲0人～27人であった。

#### 4) 施設の入所定員

被調査者の所属する施設の定員数は、平均59.04人（sd=28.3）、範囲12～160人、入所児童数は平均54.6人（sd=24.3）、範囲10～133、であった。

#### 5) 所定労働時間

被調査者の所属する施設における所定労働時間は、週40時間以上42時間未満が最も多く、つぎが週40時間未満であった（表4）。週45時間以上の施設はゼロであった。所定労働時間は施設側の就業規則や雇用契約書などで定められた労働時間のことをいう。所定労働時間は1日8時間前後の設定が最も多いということが示唆された。

表4 所定労働時間

労働時間	N
週40時間未満	48
週40時間以上42時間未満	75
週42時間以上45時間未満	7
週45時間以上	0
決まっていない	7
未記入	15

#### 6) 長期休暇

1週間以上の長期休暇が取れる施設に所属している保育者は全体の54人(約36%)であった。保育者の約57%(85人)は長期休暇が取れないと回答した。

#### 7) 性別

被調査者のうち、男性が26人、女性が124人であった。女性が全体の82.7%を占めており、保育士資格取得者に女性が多いこともあり、女性の多い職場であることが伺える。

#### 8) 年齢

被調査者の年齢は平均37.94歳(sd=10.9)、範囲21歳~59歳であった。年齢の内訳と見ると20歳台が42人、30歳台が41人、40歳台が38人、50歳台が27人となり、それぞれの年齢層に大きな偏りがなく、比較的バランスの取れた年齢構成であるといえる。

#### 9) 婚姻状況

未婚者が75人、既婚者が72人とほぼ同数であった。

#### 10) 最終学歴

最終学歴は短期大学が最も多く、つぎに各種専門学校、大学と続いた。この結果は、保育者養成を行う教育機関の収容人数の実態を反映しているものと思われる(表5)。

表5 最終学歴

最終学歴	N
高校	5
各種専門学校	44
短期大学	59
大学	39
大学院	25
未記入	1

#### 11) 現在の職場での勤務年数

現在の職場での勤務年数は平均8年2ヶ月(sd=8年1ヶ月)、範囲5か月~33年であった。

#### 12) 保育士以外の資格

74%(111人)の被調査者が保育士以外の資格を有していた。最も多かった資格が幼稚園教諭免許であり、そのつぎが社会福祉主事任用資格であった(表6)。保育者養成校は、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を取得できるカリキュラムを設置していることが多く、このことを反映した結果であると考えられる。その他の資格では、ホームヘルパー1級、ホームヘルパー2級、看護師、児童指導員、中学校教員免許状、高等学校教員免許状、レクリエーションインストラクター、キャンプインストラクター、栄養士、調理師、簿記、情報処理関係資格などの回答があった。

表6 保育士以外の資格

資格	N
社会福祉士	14
介護福祉士	10
幼稚園教諭免許	66
社会福祉主事任用資格	35
その他	18
未記入	7

### 13) 現在の雇用形態

常勤職員が114人（76％）と最も多く、つぎに週4日以上勤務の非常勤職員（20名，13％），パート職員（13人8.7％）であった。

### 14) 現在の職位

現在の職位は一般職が最も多く，99人（66.0％）で，つぎが主任保育士等の中間管理職（43人，28.7％），課長職以上の管理職（3人，2.0％）であった。

### 15) 勤務形態

勤務形態は日勤が最も多く，つぎが三交替制，二交替制の順であった（表7）。

表7 勤務形態

勤務形態	N
日勤	62
二交替制	21
三交替制	32
断続勤務	12
フレックス	3
その他	8
未記入	12

### 16) 1日あたりの実労働時間

1日あたりの実労働時間は8時間以内（68人，45.3％），8時間以上（66人，44.0％）とほぼ同数であった。この結果は，被調査者の半数が8時間以上の長時間労働を行っていることを示唆している。

### 17) 通勤形態

勤務形態は被調査者のほとんどが自宅通勤（136人，90.7％）で，つぎに施設敷地内の寮から通勤（10人，6.7％）であった。

### 18) 宿直・夜勤

宿直があると回答した被調査者は44人（29.3％）で，ないと回答した者は70人（46.7％）であった。宿直は月の回数は月4回が17人（11.3％）と最も多く，つぎが月5回であった。このことから宿直は週に1回程度あることが示唆される。夜勤があると回答した被調査者は41人（27.3％）で，ないと回答した者は82人（54.7％）であった。夜勤の回数は月3回が16人（10.7％）と最も多く，つぎが月2回（6人，4.0％）と月4回（6人，4.0％）であった。

### 19) 担当児童数

担当制をとっている回答した人数は97人（64.7％）で，担当制をとっていないと回答した人数は27人（18.0％）であった。担当児童数は1人～22人の範囲で，2人と3人の子どもを担当すると回答した人数が各々16人（10.7％）と最も多く，つぎに4人の子どもを担当するが15人（10.0％）であった。

## 20) 他の機関での勤務経験

現在の施設に勤務する以前に他の教員での勤務経験があるかという設問に対し、約8割の被調査者は勤務経験があると回答した(表8)。そのうち、保育所・幼稚園での勤務経験がある者が約6割を占めている。

表8 勤務経験

勤務経験	N
保育所・幼稚園	52
他の福祉施設	15
一般企業	2
勤務経験なし	21
未記入	61

## 21) 勤務する動機

現在の施設に勤務する動機は、「関心があり就職したいと考えていた職種である」という回答が73人(48.7%)と最も多く、つぎが「やりがいのある仕事と思ったから」の23人(15.3%)であった(表9)。

表9 勤務の動機

勤務の動機	N
関心があり、就職したいと考えていた職種	73
やりがいのある仕事と思ったから	23
知人からの紹介	7
資格を生かした仕事に就きたかった	13
特に理由はない	9

## 22) 仕事への満足

現在の仕事へ満足しているかという設問に対し、約5割の被調査者は満足している、どちらかといえば満足していると回答したが、不満を示す者も5割近くを占めた(表10)。被調査者の約半数はなんらかの不満を抱えていることがわかる。

表10 仕事への満足

仕事への満足	N
満足している	12
どちらかといえば満足している	67
不満な点が多い	32
不満足であるが、今の職場で頑張っていこうと思っている	27
不満足であり、転職を考えている	8
その他	3
未記入	1

### 23) 給与額への満足

現在の給与額について満足群が75人（50.0%）、不満群が74人（49.3%）と拮抗した値を示した（表11）。

表11 給与額への満足

給与額への満足	N
たいへん満足している	6
どちらかといえば満足している	69
どちらかといえば不満である	59
たいへん不満である	15
未記入	1

### 参考文献

- 小野澤 昇・金城 悟・柿澤敏文（2006）：児童福祉施設に勤務する保育者のかかえるストレスについて（1）．全国保育士養成協議会第45回研究大会，130．
- 金城 悟・小野澤 昇・柿澤敏文（2006）：児童福祉施設に勤務する保育者のかかえるストレスについて（2） ストレッサーとストレス．全国保育士養成協議会第45回研究大会，130．